

2011年度

科目名	LD等教育総論				
担当教員	小田 浩伸				
配当	教福3			コード	41034
開期	前期	講時	木曜日1限	単位数	2
授業テーマ	発達障害(LD・ADHD・高機能自閉症・アスペルガー症候群等)の基礎理解と、一人ひとりの実態把握及び特性に応じた指導・支援法の実践について学ぶ。				
目的と概要	発達障害(LD・ADHD・高機能自閉症等)の子ども一人一人の教育的ニーズに応じて適切な指導及び必要な支援を行うためには、特別支援教育の基本的な知識と、さまざまな指導法の技能習得が必要である。指導にあたっての心構えと子どもの細かな反応を読み取る感性(気づき)の高め方、子どもの見方・特性のとらえ方、具体的な指導の方法、個別の指導計画の作成手順等についての理解を深めることを目標とする。				
成績評価法	毎回の授業での提出課題(15回×5点＝75点)、課題レポート①(10点)、課題レポート②(15点)により総合的に評価する。				
テキスト	随時プリント資料を配布する。				
参考書	必要に応じて適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	・授業出席を重視するので、欠席や遅刻回数に留意すること。 ・講義計画に関連する雑誌や本を積極的に読んで理解を深めていくこと。 ・本授業は演習形式を多く取り入れ、理解したことを表現・言語化していくことを重視する。				
講義計画					
1. 特別支援教育についての基礎的理念と支援体制(校内支援体制・特別支援教育コーディネーター・巡回相談等)					
2. LDの理解と支援について					
3. ADHDの理解と支援について					
4. 高機能自閉症の理解と支援について					
5. アスペルガー症候群の理解と支援について					
6. 学習面や行動面における気づき・実態把握から支援への展開に向けて(気づきから支援開始までの手順)					
7. 通常の学級における個別の指導計画の作成と評価(個別性と集団性・チームアプローチの重要性)					
8. 学習面・行動面での著しい困難を示す子どもへの対応(事例を通して)					
9. LD・ADHD・高機能自閉症等の特性に応じた指導法の実践(1) 検査法(WISC-Ⅲ、K-ABC)					
10. LD・ADHD・高機能自閉症等の特性に応じた指導法の実践(2) 教科指導、SSTの実践					
11. 実践アクセス講義(ゲスト・ティーチャー) 小学校の特別支援教育コーディネーターから学ぶ					
12. 通常の学級における指導・支援の実践					
13. 特別支援教育コーディネーターの役割と関係機関と連携した校内支援体制の確立					
14. 発達障害のある子どもへの指導の実践(幼稚園・小中学校・高等学校の指導事例を通して)					
15. 総括まとめ					